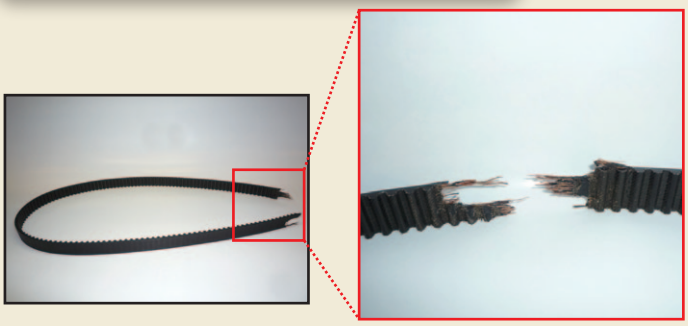
長期間使用した車両の故障・不具合事例

1 メンテナンス不良による エンジン異音発生

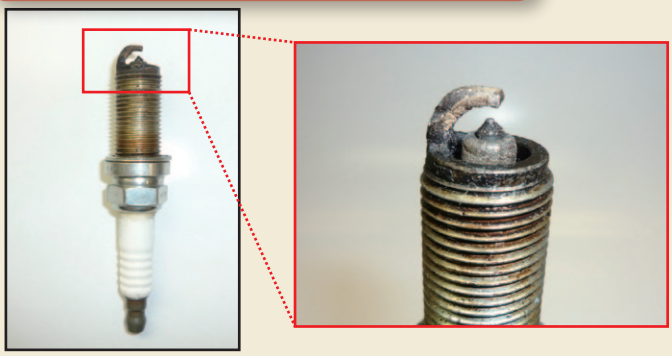
エンジン・オイル等のメンテナンスが不良だった場合、エンジン内部に汚れが蓄積され、性能低下、燃費悪化等を引き起こし、そのまま使用し続けると、最悪の場合エンジンが焼き付いて使用不可能になってしまいます。

2 劣化、摩耗による タイミング・ベルト切断



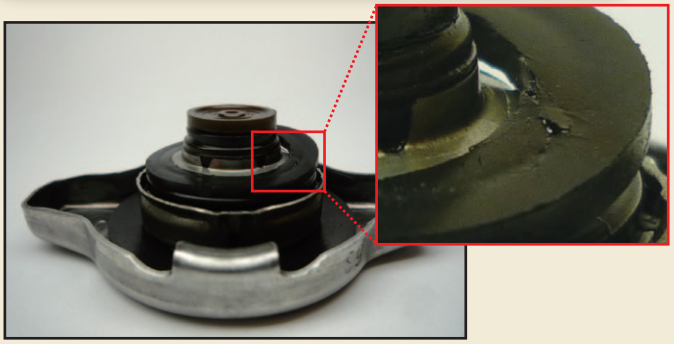
タイミング・ベルトはエンジンを動かす上で重要な役割を担っています。摩耗、劣化により切断した場合、走行不可能になってしまい、エンジンに重度の故障を引き起こしてしまう可能性もあります。

3 白金スパーク・プラグ 不具合による点火不良



スパークプラグは、エンジンを動かすために、燃料に点火をしています。電極が消耗・損傷を起こすと、点火不良を起こし、燃費の悪化やエンジンの寿命に悪影響を与える可能性があります。

4 ラジエータ・キャップ 劣化によるオーバーヒート

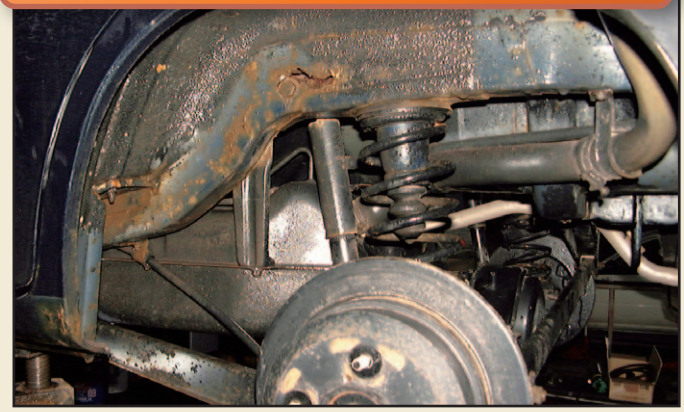


ラジエータ・キャップが劣化すると、冷却水に圧力がかからなくなり、沸騰してエンジンがオーバーヒートしてしまい、最悪の場合エンジンが焼き付いて使用不可能になってしまいます。

5 エンジン・マウント 劣化による亀裂

エンジン・マウントはエンジンを支え、車体に振動を伝えないためにクッションの役割をしています。振動により劣化し、亀裂が生じた場合、エンジン本体が脱落する危険があります。

6 フレーム塗装劣化による腐食・損傷



フレームは車重を支える重要な部分で、塗装が劣化したまま使用しつづけると、腐食等で亀裂、損傷が生じ、足廻り部品が脱落する危険があります。